



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社
 コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 幸浩
 問合せ先責任者 (役職名) 財務管理室長 (氏名) 花岡 博之
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 06-7739-7300

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	409,246	16.7	10,963	11.8	11,212	13.4	7,670	9.3
2022年3月期第2四半期	350,668		9,806	9.6	9,883	10.6	7,015	20.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 9,516百万円 (33.3%) 2022年3月期第2四半期 7,140百万円 (23.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	81.17	
2022年3月期第2四半期	73.36	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期の各数値については、当該会計基準等を適用後の数値となっております。また当該会計基準等の適用により、売上高に大きな影響が生じたため、2022年3月期第2四半期売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は10.6%減であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	366,388	140,216	38.0
2022年3月期	356,203	136,173	38.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 139,261百万円 2022年3月期 135,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		30.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830,000	8.7	27,360	13.7	27,500	12.0	18,600	9.5	195.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	96,356,460 株	2022年3月期	96,356,460 株
2023年3月期2Q	2,670,935 株	2022年3月期	1,253,110 株
2023年3月期2Q	94,497,781 株	2022年3月期2Q	95,631,635 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
2023年3月期第2四半期決算補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動が徐々に正常化することで緩やかな景気回復がみられたものの、ウクライナ情勢の長期化、急速な円安の進行、原材料やエネルギーコストの高騰等先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは第111期からスタートさせた中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）において、本計画の対象期間を「将来にわたる発展を見据えた転換期」と捉え、グループ基本方針として「次世代成長ドライバーの創出」「リーディングカンパニーとして新たな社会作りへの貢献」「経営基盤変革」を掲げ、次なる時代に向けた成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による企業価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は409,246百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は10,963百万円（前年同期比11.8%増）、経常利益は11,212百万円（前年同期比13.4%増）となりました。これに特別利益として固定資産売却益26百万円、投資有価証券売却益25百万円、その他6百万円、特別損失として固定資産除却損44百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,670百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

コーポレート向け市場では、全国の営業拠点において、新型コロナウイルス感染症への対策に万全を期し、対面とテレワークを柔軟に組み合わせた地域密着営業を推し進めました。半導体不足に起因した納期遅延や仕入原価の上昇の影響はありましたが、企業や官公庁向けでは、在庫商材への切り替え提案を強化することで、PCやネットワーク機器の販売は前年を上回りました。また、サブスクリプション管理ポータルサイト「iKAZUCHI（雷）」を通じたサブスクリプション製品の契約数は増加し、ソフトウェアを中心としたクラウドサービスも好調に推移しました。文教向けにおいても高校向け生徒用端末や小中学校の教職員端末の需要が拡大し、前年を上回る実績となりました。

コンシューマ向け市場では、量販店向けの販売は伸長したものの、個人消費の低迷によりEC向けの販売が減収となり売上高は前年と同程度の水準となりました。

以上の結果、当事業の売上高は371,705百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は9,739百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

(繊維事業)

合繊・レーヨン部門では、行動制限の緩和や猛暑の影響によりコスメ商材や制汗シートの販売が伸長し、米国向けの防災レーヨン素材も堅調に推移しました。産業資材部門では、半導体不足による自動車市場低迷の影響でゴムスポンジ等は伸び悩みましたが、建築シート関連、合繊帆布などは回復が進みました。衣料製品部門では、米国向け販売の好調と国内での衣料消費が持ち直すなど需要回復の兆しがみられました。利益面では事業全般で原燃料価格の高騰や急速な円安の進行によるコストアップの影響により苦戦を強いられました。

以上の結果、当事業の売上高は31,356百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は718百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

(産業機械事業)

工作機械部門では、風力発電や高効率ガスタービンで需要のあるエネルギー業界、また半導体や建設機械、医療機器等の幅広い業界への出荷や部品交換等のサービス売上の増加により売上高、利益ともに前年を上回りました。自動機械部門では、受注は回復傾向にあるものの、前年同期に比べて出荷台数が減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は5,804百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は437百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品の増加等により前連結会計年度末に比べて10,185百万円増加し366,388百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べて6,142百万円増加し226,172百万円となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べて4,043百万円増加し140,216百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました2023年3月期の連結業績予想から変更をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,963	51,123
受取手形及び売掛金	202,408	198,082
商品及び製品	38,478	46,767
仕掛品	3,053	3,524
原材料及び貯蔵品	2,059	2,135
その他	11,467	13,768
貸倒引当金	△297	△293
流動資産合計	304,134	315,109
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,385	18,453
その他(純額)	19,886	19,689
有形固定資産合計	38,272	38,142
無形固定資産		
その他	2,462	2,271
無形固定資産合計	2,462	2,271
投資その他の資産		
その他	11,460	10,879
貸倒引当金	△126	△15
投資その他の資産合計	11,333	10,864
固定資産合計	52,068	51,279
資産合計	356,203	366,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,859	164,382
短期借入金	12,589	14,952
未払法人税等	727	3,580
賞与引当金	2,476	2,619
その他の引当金	324	215
その他	13,587	14,932
流動負債合計	191,564	200,683
固定負債		
長期借入金	14,895	12,011
退職給付に係る負債	6,677	6,600
その他	6,893	6,876
固定負債合計	28,465	25,489
負債合計	220,030	226,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,937	7,937
利益剰余金	106,053	110,870
自己株式	△2,123	△4,704
株主資本合計	133,564	135,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,499	1,267
繰延ヘッジ損益	325	1,533
為替換算調整勘定	△748	87
退職給付に係る調整累計額	615	572
その他の包括利益累計額合計	1,691	3,461
非支配株主持分	917	954
純資産合計	136,173	140,216
負債純資産合計	356,203	366,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	350,668	409,246
売上原価	320,969	377,801
売上総利益	29,699	31,444
販売費及び一般管理費	19,893	20,480
営業利益	9,806	10,963
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	91	99
販売支援金	139	152
持分法による投資利益	23	83
その他	121	117
営業外収益合計	385	471
営業外費用		
支払利息	89	79
その他	219	142
営業外費用合計	308	222
経常利益	9,883	11,212
特別利益		
固定資産売却益	—	26
投資有価証券売却益	319	25
その他	23	6
特別利益合計	342	58
特別損失		
固定資産除却損	—	44
特別損失合計	—	44
税金等調整前四半期純利益	10,226	11,227
法人税、住民税及び事業税	2,216	3,524
法人税等調整額	984	15
法人税等合計	3,200	3,540
四半期純利益	7,025	7,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,015	7,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	7,025	7,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△234
繰延ヘッジ損益	△139	1,207
為替換算調整勘定	340	801
退職給付に係る調整額	△27	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	31	96
その他の包括利益合計	115	1,829
四半期包括利益	7,140	9,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,102	9,440
非支配株主に係る四半期包括利益	38	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,417,500株の取得を行いました。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,581百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が4,704百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間におきまして、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	315,155	29,360	5,727	350,244	424	350,668	—	350,668
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	153	100	—	254	622	876	△876	—
計	315,309	29,461	5,727	350,498	1,046	351,545	△876	350,668
セグメント利益 又は損失(△)	8,556	957	302	9,816	△12	9,804	1	9,806

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	371,705	31,356	5,804	408,866	379	409,246	—	409,246
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	111	8	—	120	185	306	△306	—
計	371,817	31,364	5,804	408,987	565	409,552	△306	409,246
セグメント利益	9,739	718	437	10,895	58	10,954	9	10,963

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であるダイワボウ情報システム株式会社及び、ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社は、2022年3月17日開催の取締役会において、同社退職金規程および確定給付企業年金規約を一部改訂することを決議し、2022年10月1日付で施行いたしました。本制度改訂に伴い退職給付債務が3,949百万円増加いたします。この退職給付債務の増加は過去勤務費用に該当するため、同2社の定める会計方針に従い、5年にわたり定額法で費用処理いたします。

2023年3月期第2四半期決算補足資料

1. 設備投資額・減価償却額 (百万円)

	連 結		
	2021年9月期	2022年3月期	2022年9月期
設 備 投 資 額	1,356	2,187	956
減 価 償 却 額	1,732	3,491	1,676

2. 有利子負債 (百万円)

	連 結		
	2021年9月期	2022年3月期	2022年9月期
借 入 金	24,645	27,484	26,964

3. 研究開発費 (百万円)

	2021年9月期	2022年3月期	2022年9月期
連 結	458	883	488

4. 従業員数 (人)

	2021年9月期	2022年3月期	2022年9月期
連 結	5,861	5,671	5,795
(内: 海外)	(1,747)	(1,660)	(1,644)
単 独	28	28	27

(注) 嘱託社員を含み、出向社員を除いております。

5. 2023年3月期の通期業績予想 (百万円)

	連 結				
	ITインフラ流通事業	繊維事業	産業機械事業	その他	計
売 上 高	754,820	62,060	12,480	640	830,000
営 業 利 益	23,700	2,760	890	10	27,360

6. 2023年3月期の通期設備投資額・減価償却額予想 (百万円)

	連 結
設 備 投 資 額	3,105
減 価 償 却 額	3,689